

地区	開催日	視察先施設	定員	内容・施設の特徴	視察先住所（アクセス方法）	備考（持ち物）
東部地区	10月24日（木） 9：45～11：45	【視察先】 幼保連携型認定こども園 こどものもり 【集合】 こどものもり施設前 9：40	20名	幼保連携型認定こども園 幼保一体化園「こどものもり」は自然や温かな人と人との触れ合いの中で、子ども達が豊かな心を育んでいく事を願いつくられました。 幼稚園と保育園の子どもが自由に行き来しながら、ともに支え合い、助け合える「一軒の家」をイメージしたつくりになっています。 施設を繋ぐ園の中央にランチルームがあり、子ども達や保育者が双方を行き来し、ともに学び、ともに食し、多くの時間を一緒に過ごしています。 ランチルームは「森のレストラン」と呼ばれ、木のぬくもりと太陽の優しい日差しが差し込み、社会生活の基本を学ぶ大切なスペースとなっています。	【住所】 北足立郡松伏町田中1-7-31 【アクセス】 電車：東武スカイツリー線「北越谷駅」東口下車 茨木急行バス「エローラ」ゆき「赤岩入口」下車徒歩3分 JR武蔵野線「吉川駅」北口下車 茨木急行バス「エローラ」ゆき「内前野」下車徒歩3分 車：宝珠院 駐車可	【持ち物】 上履き
西部地区	11月25日（月） 9：30～11：30	【視察先】 狭山市立入曽保育所 【集合】 入曽保育所駐車場 9：30	15名	いりそ次世代支援センター「I palett」（あいぱれっと）内にあり、地域における基幹型 保育所として、2024年4月スタート。妊娠期から子育て期までの身近な相談窓口、民間保育所との連携体制の構築、医療的ケア児や配慮が必要な児童の受け入れなどの機能を有する、地域の子育て支援の中心的役割を担う。同じ施設内に児童館、子育てプレイスがあり、子育てに関する情報発信や支援に幅広く対応。園舎内は木のぬくもりを感じながら、安心して生活できるような空間となっている。保育士だけでなく、保健師、看護師も勤務している。	【住所】 狭山市大字南入曽428番地1 【アクセス】 電車：西武新宿線入曽駅東口より徒歩約10分	【持ち物】 筆記用具・上履き 【備考】 駐車場利用可能（15台）※駐車場の利用については、利用可能台数があるため、調整させて頂く場合がございます。
南部地区	I 日程：10月22日（火） 9：30～11：00 II 日程：11月6日（水） 9：30～11：00 ※ I 日程、II 日程のどちらかをお選びください。	【視察先】 戸田市立新曽保育園 【集合】 戸田市立新曽保育園正門（つつじ通りバス停側） 9：25	I 日程：10名 II 日程：9名	令和4年度より医療的ケア児の保育を開始し、令和4年度、令和5年度は1名、令和6年度は2名の受け入れを行っている。園舎は平屋作りで、異年齢との交流をもちながら、元気に健やかに優しい心が育まれるよう一人ひとりを大切にした保育を行っている。また、自然界で起きる様々な現象や事象に遊びの中で興味や関心が持てるよう、保育士も一緒に好奇心や探求心を大切にする取り組み等を行っている。	【住所】 戸田市大字新曽1835-1 【アクセス】 電車：JR戸田駅 徒歩20分 バス6分 新曽入口下車（下笹目行き）	【持ち物】 スリッパ（室内履き） 【備考】 駐車場はありません。車の場合は、近隣のコインパーキングをご利用ください。
北部地区	11月20日（水） 13：00～15：00	【視察先】 第二なでしここども園 【集合】 第二なでしここども園駐車場 12：50	20名	のどかな田園風景に佇む幼保連携型認定こども園です。既存園の第二なでしこ保育園から今年の4月移転、開園しました。熊谷ラグビー場の北に位置し、2階デッキからは日光連山、筑波山、赤城山と関東の名だたる山並みが一望できます。コロナ真っ只中の計画ということもあり、各年齢それぞれが独立した出入口をもつ広々とした平面設計となっています。平成元年から職員内で最低限の保育方法を共有するため書き始めたマニュアルが、2018年（指針の改定の年）に6回目の改定で（株）大修館書店より「保育ハンドブック（全3巻）」として上梓されました。その中で、私たちがずっと行ってきた0～2歳児の保育を「かわいがり保育」、年少～年長児保育を「よりそい保育」と名づけ、現在も職員間で日々の保育を共有するために使っています。	【住所】 熊谷市今井377番地 【アクセス】 お車でのお来園をおすすめいたします。	【持ち物】 上履き 【備考】 駐車場から職員が園まで御案内いたします。